■島津忠義 薩摩藩主・鹿児島藩知事。父久光の監視のもと、率先して藩近代化・版籍奉還、〈明治維新〉を推進した。

しまづただよし

勅進帳初演・1840＝ 鹿児島城下で、_島津斉彬の弟の島津久光の長男に生まれる。

阿部正弘首座1845＝ 5歳：

北斎没・・・1849＝ 9歳：

ペリー来航・1853＝13歳：

五ヶ国条約・1858＝18歳：*藩主島津斉彬の死によって藩主となり、父久光が後見役となって、藩政の実権をにぎる。

安政の大獄・1859＝19歳：_藩内の勤王派大久保利通らが脱藩して大老井伊直弼暗殺を謀ろうとした際、忠義は自ら尊王の志のあることを手紙で示して脱藩を思いとどまらせ、挙国一致による藩政改革をめざし、軍備強化につとめた。

桜田門外変・1860＝20歳：

生麦事件・・・1862＝22歳：*兵をひきいて上洛勅使とともに江戸に行き、公武合体派の手による幕政改革に成功。

生麦事件、薩英戦争をへて薩夷の方向が強められ、鹿児島湾内に砲台を増築して英艦の来襲に備える。

禁門の変・・・1864＝24歳：_藩政改革に着手、とくに開成所を設け、近代的学問の吸収に努める。

薩摩藩士密航1865＝25歳：_ひそかに五代友厚・新納久修らを留学生としてヨーロッパに派遣、フランス人モンブランと商社の設立を契約、軍隊はイギリス式を採用、また英公使パークス夫妻を鹿児島に招いたり、新式の紡績機械と技師をイギリスから招き、工場を建てるなど、藩の近代化に努力した。

大政奉還・・・1867＝27歳：_討幕の密勅が下るや兵を率いて京都に上り、王政復古をすすめる。

明治維新・・・1868＝28歳：*戊辰戦争ではその中心勢力として活躍。維新後は鹿児島藩知事、

廃藩置県・・・1871＝30歳：*廃藩置県によって引退。

明治6年政変 1873＝33歳：

のち公爵貴院議員。

三つの内乱・1876＝36歳：

明治14年政変1881＝41歳：

内閣発足・・・1885＝45歳：

帝国憲法発布1889＝49歳：

日清戦争始・1894＝54歳：

_位階は最高をきわめて、

八幡製鉄始・1897＝57歳：_没し、国葬となった。